

医療関係者の皆様

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する

NCGMセンター病院 薬剤部の対応 Ver.2

薬剤部では COVID-19 感染の入院患者に対して診療支援を行っております。

薬剤部での対応をご紹介します。

1. 患者対応

2021年2月現在、当院では COVID-19 患者用に 72 床（うち重症 6 床）の病床を用意し、複数の専用病棟において COVID-19 患者を受け入れています。当初は COVID-19 患者担当薬剤師 1 名を専従として配置し、複数病棟を横断的に活動していましたが、現在は専従体制を見直し、各病棟の薬剤師と数名のサポート薬剤師からなるチームを編成して対応しています。薬剤部としても感染対策を徹底し、他の職種と協力して、COVID-19 に対してチーム医療を実施しています。

COVID-19 専用病棟

- ナースステーションと廊下は清潔エリアです。
- 患者の部屋へ入室の際は PPE を着用します。
- PPE 着脱時、ドアノブやカルテのキーボードを触る際など、常に手指消毒を徹底しています。
- 各病棟薬剤師は、互いに情報共有を行っています。

2. PPE(Personal Protective Equipment : 個人防護具)

- 患者の部屋に入り、患者対応を行う場合には必ず PPE を着用します。各病棟の着用エリアに PPE（N95 マスク、シールド付きマスク、帽子、ガウン、手袋）が配置されています。
- 退室の際は、部屋に設置された廃棄 BOX へ PPE を廃棄します。
- PPE が不足する可能性もあるので、入室のタイミングを考えたいえ、使用しています。

3. 医薬品管理

- COVID-19 患者の部屋に持ち込んだ医薬品が投与中止となった場合は、返納処理をせず、患者の部屋で廃棄を行います。注射薬は、ナースステーションで調製してから患者の部屋に持ち込むため、廃棄となることは殆どありません。
- 内服薬はすべて、病棟看護師が管理して服用時に配薬等を行っています。
- ナースステーションで中止となった医薬品は、薬剤部へ返納しています。
- 手術室で使用する注射薬は、手術室外で調製して手術室へ持ち込むようにしています。手術室へ持ち込んだ後に使用しなかった未開封のアンプルやバイアルは、アルコールで消毒を行い、返納可能としています。
- 麻薬の施用が中止になった場合の残薬は、麻薬管理者の立ち合いによる確認のもと、患者の部屋や手術室内で廃棄を行っています。

4. 持参薬鑑別

- 持参薬鑑別は通常の入院患者と同様に実施しています。
- COVID-19 患者の持参薬は、ナースステーションに持ち込まず、薬剤師が PPE を装着して患者の部屋で持参薬鑑別を行っています。感染対策に注意を払いながら、持参薬の聞き取りを行い、電子カルテへの登録を実施しています。
- 持参薬は原則使用せず、当院の処方薬に変更しています。
- 院内で処方できない特殊な医薬品（採用されていない医薬品や外国籍患者の海外の医薬品など）は、持参薬を使用しています。内服確認は口頭で実施しています。

5. 服薬指導

- 主治医より服薬指導の依頼があった場合に実施しますが、薬歴確認から薬学的介入が必要と判断される場合には主治医と相談のうえ、積極的に服薬指導を実施しています。

2020年4月17日作成

2021年2月15日改訂

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

(参考1)

PPE(Personal Protective Equipment)個人防護具

- 持参薬の聞き取りや薬剤管理指導を行う際は、PPEを装着して実施しています。
- 患者の部屋に入る時は、廊下（清潔エリア）にて、以下の順番にPPEを装着して入室します。

装着手順：①ガウン ②N95マスク ③キャップ ④シールド付きマスク ⑤手袋

- 退室時には、以下の順番にPPEを脱衣します。

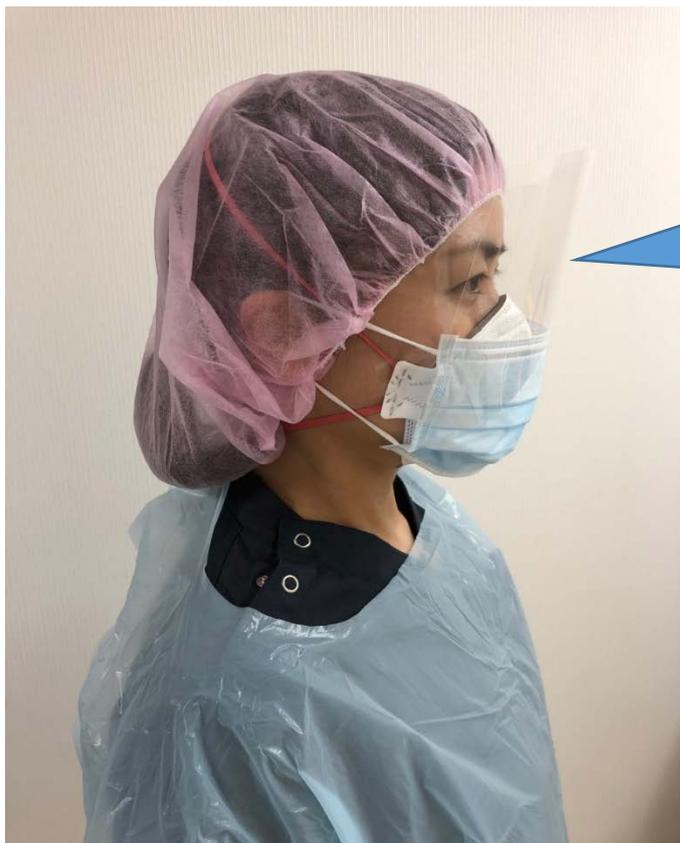
脱衣手順：①手袋 ②ガウン ③シールド付きマスク ④キャップ ⑤N95マスク

①から④は患者部屋に設置された廃棄BOXへ廃棄して、N95マスクは装着したまま退室します。



次の順番で装着する。

- ① ガウン
- ② N95 マスク
- ③ キャップ
- ④ シールド付きマスク
- ⑤ 手袋



N95 マスクの上に、
シールド付きマスクを
装着する。



ガウンの袖を
手袋の内側に入れる